

# シニア・高齢者のインターネット利用に関する調査

— 8割がネットで「調べもの」、詳しくなりたい端末はPC>タブレット>スマホ —

2012年2月27日

株式会社ジー・エフ www.gf-net.co.jp  
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-20-1  
電話:03(5978)2261 FAX:03(5978)2260

株式会社ジー・エフ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：岡田博之）は、自社が保有するシニアデータベースを対象に、「シニア・高齢者のインターネット利用」に関する調査を実施しました。調査手法はアウトバウンドIVRによる電話調査。調査期間 2012年2月14日（火）の18：30～20：00において、800世帯からの有効回答を得ることができました。

## ◆ 所有する携帯電話のタイプは、普通のタイプ49.4%、スマホは僅か4.4%

どのような携帯電話のタイプを持っているか質問したところ、「普通のタイプ」（49.4%）、「操作が簡単なタイプ」（43.5%）、「スマートフォンといわれる高機能タイプ」は僅か4.4%にとどまりました。女性の70代（65.8%）、80代以上（65.4%）の6割半ばが簡単操作の携帯電話を、男性50代（10.5%）のほぼ1割が“スマホ”を所有していることがわかりました。

## ◆ インターネットで利用する内容は、「調べもの」81.3%、次いで「地図」68.9%

『利用する』回答者にその内容を質問したところ、「調べもの」が最も高く81.3%、次いで、「地図」（68.9%）、「乗換え案内」（49.8%）などと続き、「mixi、FacebookなどSNSといわれるサイト」は7.7%、「ツイッター」は6.0%といずれも1割に満たない結果となっています。男女別では、「動画を見る」の項目では、男性（46.1%）が女性（31.8%）に比べ14.3ポイント高いことがわかりました。

## ◆ インターネットは「なくてはならない存在」と回答した割合が27.3%

インターネットはどのようなものか質問したところ、「どちらかといえばあったほうが良い」57.2%が最も高く、次いで、「なくてはならない存在」（27.3%）などが続き、インターネットを必要としている割合は8割半ばとなっています。性・年代別でみると、「なくてはならない存在」の回答は、男性50代（37.8%）、男性70代（35.3%）が他の性年代に比べ高いことがわかりました。

## ◆ もっと詳しくなりたい端末機は、「パソコン」47.4%、次いで「タブレット端末」

どのような情報端末に詳しくなりたいかと質問したところ、「パソコン」が47.4%と最も高く、次いで、「タブレット端末」（13.6%）、「従来の携帯電話」（13.4%）、「スマートフォン」（9.3%）などが続き、「パソコン」の項目では、男性70代が最も高く62.7%、「タブレット端末」の項目では、男性50代が19.5%と最も高い数値を示しました。

※本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、弊社までご連絡ください。  
株式会社ジー・エフ シニアリサーチ担当

## 調査概要

- ◇ 調査対象 : 全国の GF シニアデータベース
- ◇ 有効回答件数 : 800 件
- ◇ 標本抽出法 : GF・RTD (ランダム・テレフォンナンバー・ダイアリング) 方式
- ◇ 調査方法 : アウトバウンド IVR による電話調査
- ◇ 調査時期 : 平成 24 年 2 月 14 日 (火) 18 : 30~20 : 00
- ◇ 調査主体 : 株式会社ジー・エフ
- ◇ 質問項目
  - 1. 携帯電話の所有 --- p. 3
  - 2. 所有する携帯電話のタイプ 【携帯電話所有者】 --- p. 5
  - 3. パソコンの所有 --- p. 8
  - 4. インターネットの利用状況 --- p. 10
  - 5. インターネットの利用端末 【インターネット利用者】 --- p. 14
  - 6. インターネットの利用内容 【インターネット利用者】 --- p. 16
  - 7. インターネットの便利さ 【インターネット利用者】 --- p. 17
  - 8. インターネットの存在 【インターネット利用者】 --- p. 20
  - 9. 詳しくになりたい端末機 【インターネット利用者】 --- p. 23
  - 10. インターネットの利用意向 【インターネット非利用者】 --- p. 25
  - 11. インターネットの便利さ 【インターネット非利用者】 --- p. 27
- ◇ 注意点
  - ※サンプル数が少ない項目は誤差が大きいため参考程度にご覧下さい。
  - ※各項目のサンプル数が 30 未満のデータはコメントを控えています。
  - ※図表などの比率は小数点第2位または第1位を四捨五入して表示しているため、全体の計と内訳の合計が一致しないことがあります。

## 調査結果

表 1 割付 (性別×年代別)

	50代	60代	70代	80代	合計
男性	100s	100s	100s	100s	400s
女性	100s	100s	100s	100s	400s
合計	200s	200s	200s	200s	800s

表 2 世帯構成

	件数	構成比
1人	134	16.8%
2人	341	42.6%
3人	147	18.4%
4人	103	12.9%
5人以上	75	9.4%
合計	800	100.0%

## 1.1 携帯電話の所有状況 —77.4%が携帯電話を所有—

- ◇ 「あなたは携帯電話を持っていますか？」と質問したところ (図 1-1)、「持っている」(77.4%)が8割近くとなりました。

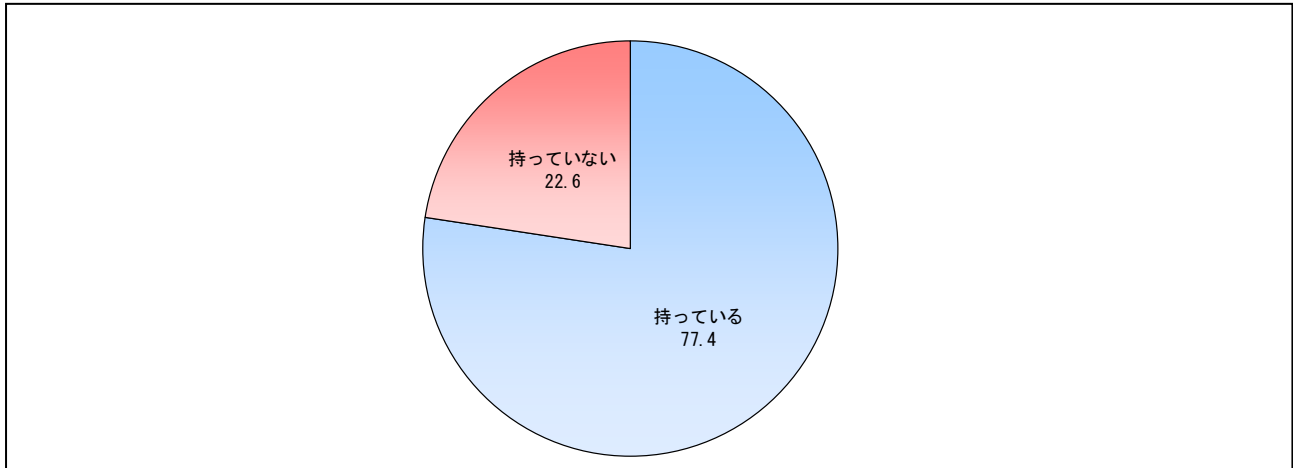


図 1-1 年代別にみる携帯電話の所有状況 (n=800)

## 1.2 年代別にみる携帯電話の所有状況 —80代以上の所有 54.5%—

- ◇ 年代別に携帯電話の所有状況についてみると (図 1-2)、「持っている」回答は50代が90.5%と最も高く、60代(87.0%)、70代(77.5%)と続きました。
- ◇ 80代以上が54.5%と、携帯電話の所有は5割半ばとなっています。

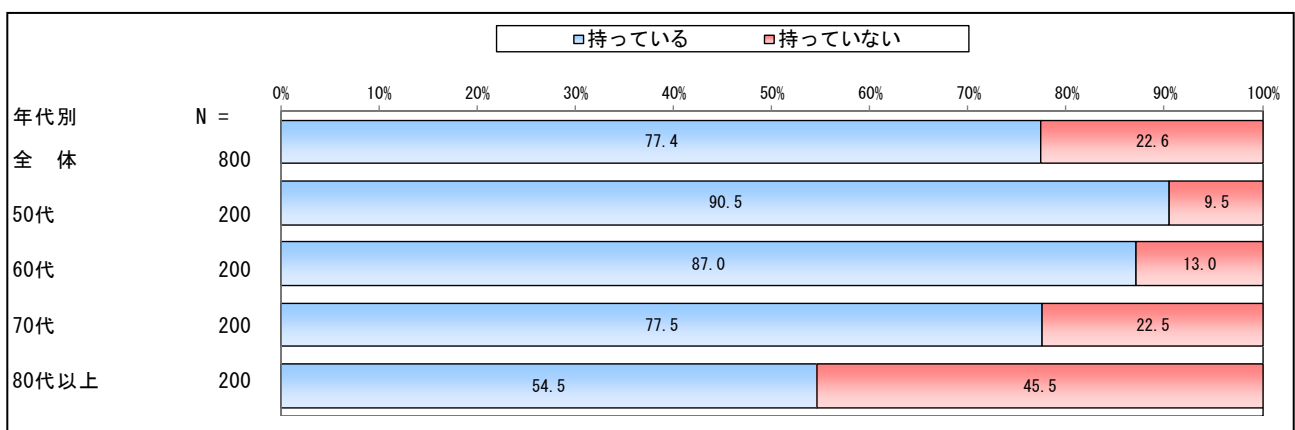


図 1-2 年代別にみる携帯電話での所有状況 (n=800)

### 1.3 性・年代別にみる所有状況 —男性 60 代、女性 50 代がそれぞれ最高—

- ◇ 男女別に携帯電話の所有状況についてみると（図 1-3）、男女間による大きな差は見受けられず、ほぼ同じ数値を示しています。
- ◇ 性・年代別にみると、「持っている」の項目では、女性 50 代が 95.0%と最も高い割合を示し、女性 80 代（52.0%）が最も低い結果となりました。女性においては、年代が上がるにつれ所有する割合が減少する傾向にあります。男性では、60 代が 91.0%と最も高い数値となっています。
- ◇ 年代により男女間の差（50 代 9.0 ポイント、60 代 8.0 ポイント）が見受けられました。

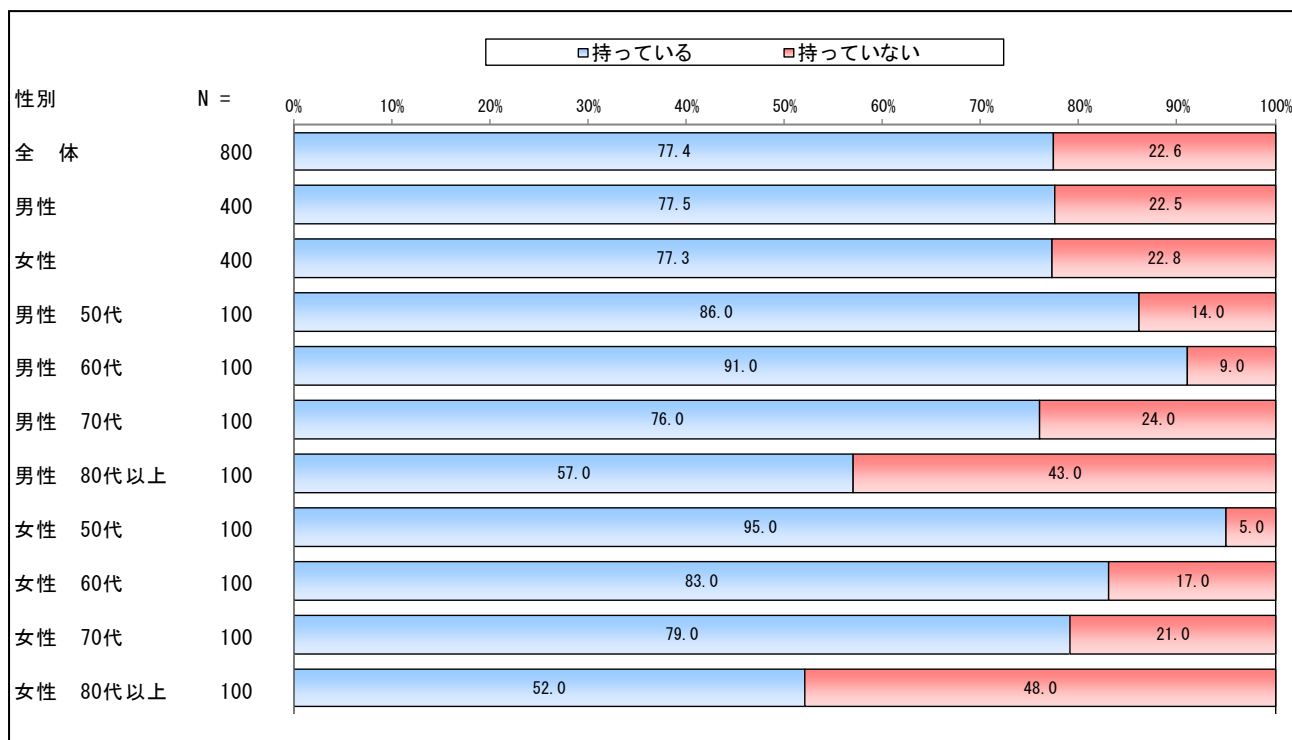


図 1-3 男女別・年代別にみる携帯電話の所有状況（n=800）

## 1.4 世帯人数別にみる所有状況 —世帯人数が増えると所有率が高くなる—

- ◇ 世帯人数別に携帯電話の所有状況についてみると（図 1-4）、「持っている」回答は、4 人 89.3%、5 人以上 88.0%といずれも 9 割近い値となりました。
- ◇ 1 人（70.1%）、2 人（71.8%）世帯は、いずれも 7 割程度にとどまっていることから、1 世帯あたりの人数が多い世帯が携帯電話を所有する割合が高いようです。

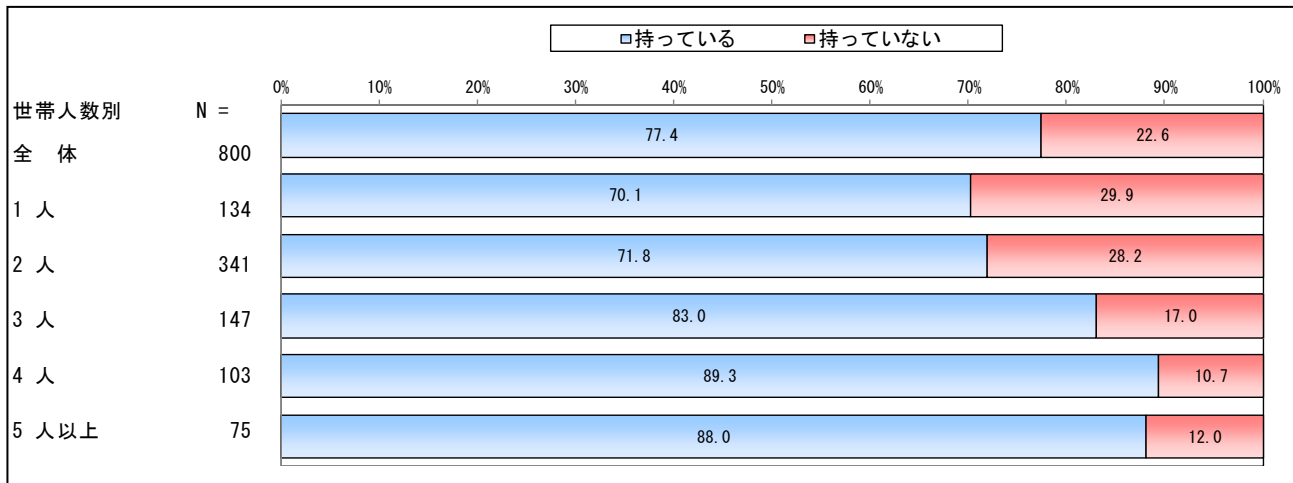


図 1-4 世帯人数別にみる携帯電話の所有状況（n=800）

## 2.1 所有する携帯電話のタイプ —普通のタイプがトップ、スマホは 4.4%—

- ◇ 携帯電話所有者に「どのようなタイプの携帯電話を持っていますか？」と質問したところ（図 2-1）、「普通のタイプ」が 49.4%と最も高く、次いで、「操作が簡単なタイプ」が 43.5%などと続きました。「スマートフォンといわれる高機能タイプ」は 4.4%にとどまりました。

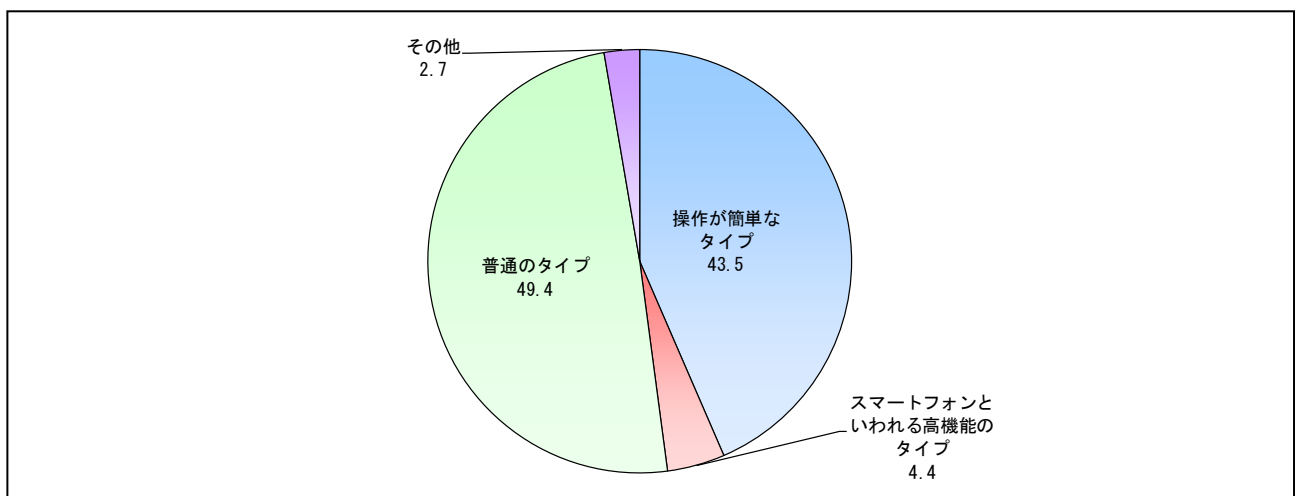


図 2-1 買い物での外出頻度（n=619）

## 2.2 年代別携帯電話のタイプ —70代、80代以上の6割が簡単操作タイプ—

- ◇ 年代別に所有する携帯電話のタイプについてみると（図 2-2）、「操作が簡単なタイプ」の項目では、80代以上が 59.6%、70代が 58.7%と他の年代に比べ高い割合を示しています。年代が高くなると機能性よりも操作性を重視しているようです。
- ◇ 「普通のタイプ」の項目では、50代が 66.9%と 7割近い数値を示しました。
- ◇ 「スマートフォンといわれる高機能タイプ」を所有している割合は、50代が 6.6%、60代で 5.7%にとどまっており、シニア高齢世代での普及はまだまだのようです。

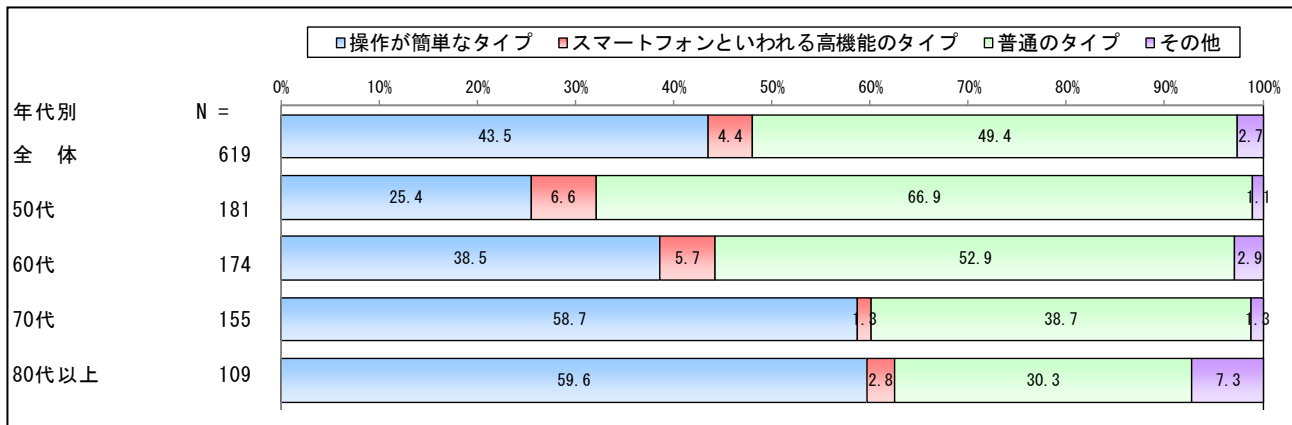


図 2-2 年代別にみる所有する携帯電話のタイプ (n=619)

## 2.3 性・年代別にみる携帯電話のタイプ —男性 50代の 10.5%がスマホ保有—

- ◇ 男女別に所有する携帯電話についてみると（図 2-3）、「操作が簡単なタイプ」の項目では、女性（46.9%）が男性（40.0%）に比べ 6.9 ポイント高くなっています。
- ◇ 「スマートフォンといわれる高機能タイプ」の項目では、男性（6.5%）が女性（2.3%）に比べ 4.2 ポイント高く、より機能を重視しているようです。
- ◇ 性・年代別にみると、「操作が簡単なタイプ」の項目では、女性 80 代以上（65.4%）、女性 70 代（65.8%）が 7 割近くに達しています。
- ◇ 「普通のタイプ」の項目では、女性 50 代が 70.5%と最も高い結果となりました。
- ◇ 「スマートフォンといわれる高機能のタイプ」の項目では、男性 50 代が 10.5%、続いて、男性 60 代が 8.8%の順となりました。



図 2-3 男女別・年代別にみる所有する携帯電話のタイプ (n=619)

### 3.1 パソコンの所有状況 —6割超が保有している—

- ◇ 「あなたのご家庭には、パソコンがありますか？」と質問したところ (図 4-1)、「ある」が 62.0%と、パソコン所有世帯は 6 割を超えています。

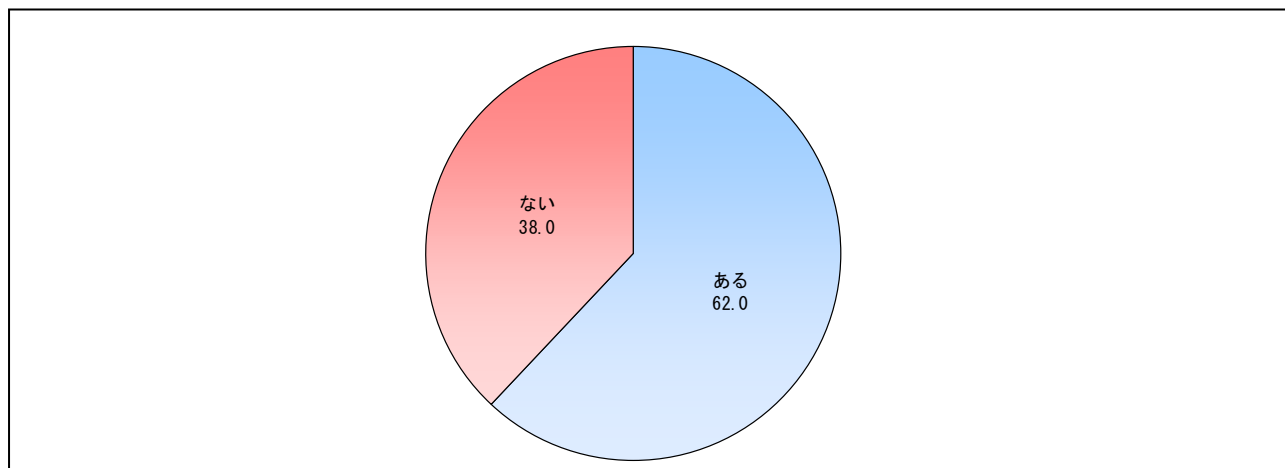


図 3-1 パソコンの所有状況 (n=800)

### 3.2 年代別にみるパソコンの所有状況 —80代以上で所有 30.5%と最低—

- ◇ 年代別にパソコンの所有状況についてみると (図 3-2)、50代では「ある」(85.0%)が 8割半ばに達しているのに対し、80代以上 (30.5%)では 3割にとどまっています。
- ◇ 携帯電話の所有と同様に、年代が上がるにつれ所有する割合は減少傾向にあることがわかります。

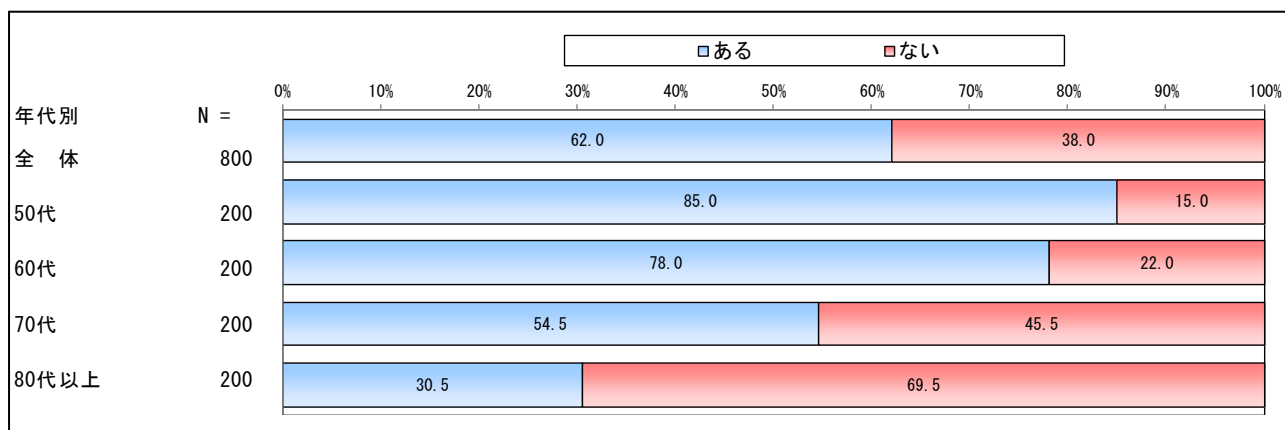


図 3-2 年代別にみるパソコンの所有状況 (n=800)

### 3.3 性・年代別にみるパソコンの所有状況 —女性 80 代以上の所有 19.0%—

- ◇ 男女別にパソコンの所有状況についてみると（図 3-3）、「ある」の回答では、男性（67.5%）は女性（56.5%）に比べ 11.0 ポイント高い値となりました。
- ◇ 性・年代別にみると、パソコンを所有する割合が最も高いのは、女性 50 代で 87.0%となりました。最も低くなったのは、女性 80 代以上で 19.0%の数値を示し、男性 80 以上（42.0%）と比べ 23.0 ポイントも低い値であることがわかります。

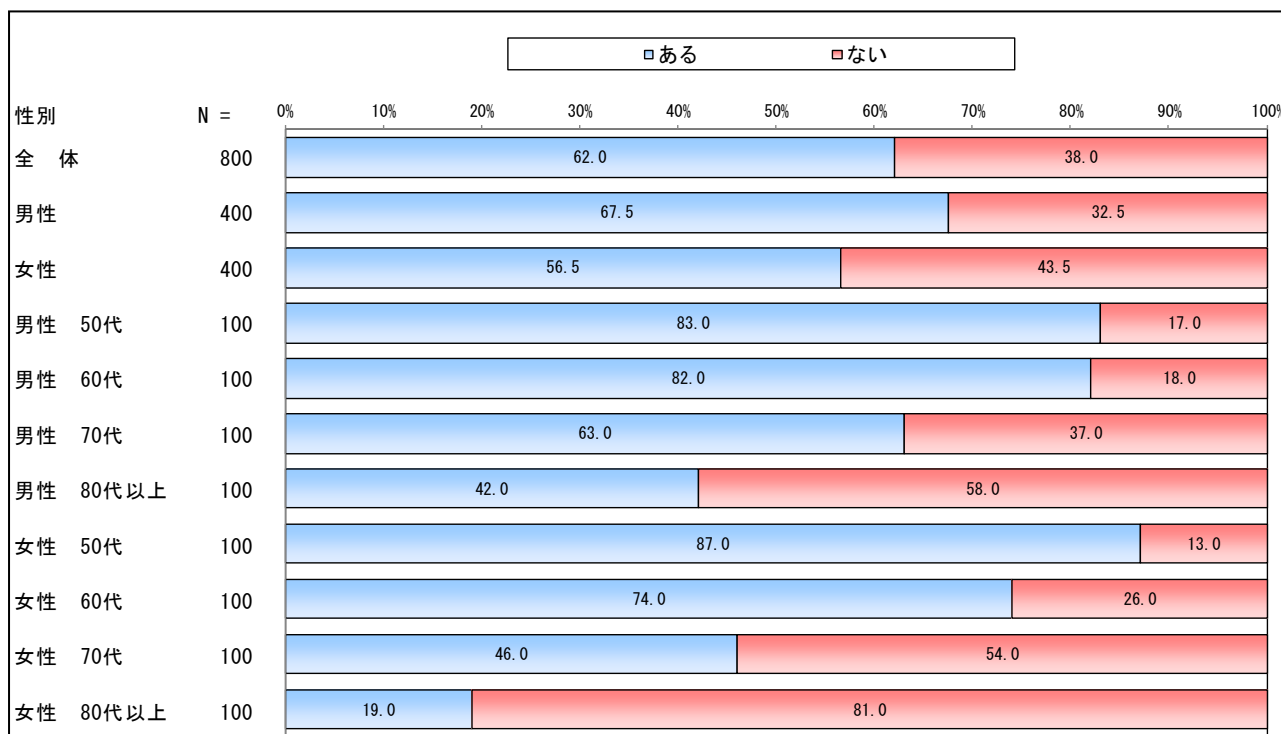


図 3-3 男女別・性年代別にみるパソコンの所有状況（n=800）

### 3.4 世帯人数別にみるパソコンの所有状況 —4人以上世帯9割近く所有—

- ◇ 世帯人数別にパソコンの所有状況についてみると（図 3-4）、「ある」回答では、4人（89.3%）、5人以上世帯（88.0%）ではいずれも9割近い値となりました。
- ◇ 一方、1人世帯がパソコンを所有する割合が最も低く34.3%となりました。
- ◇ 1人世帯における携帯電話を所有する割合が70.1%（図 2-2）であったことを考慮すると、1人世帯においては、パソコンを所有する必要性は携帯電話に比べ低いようです。

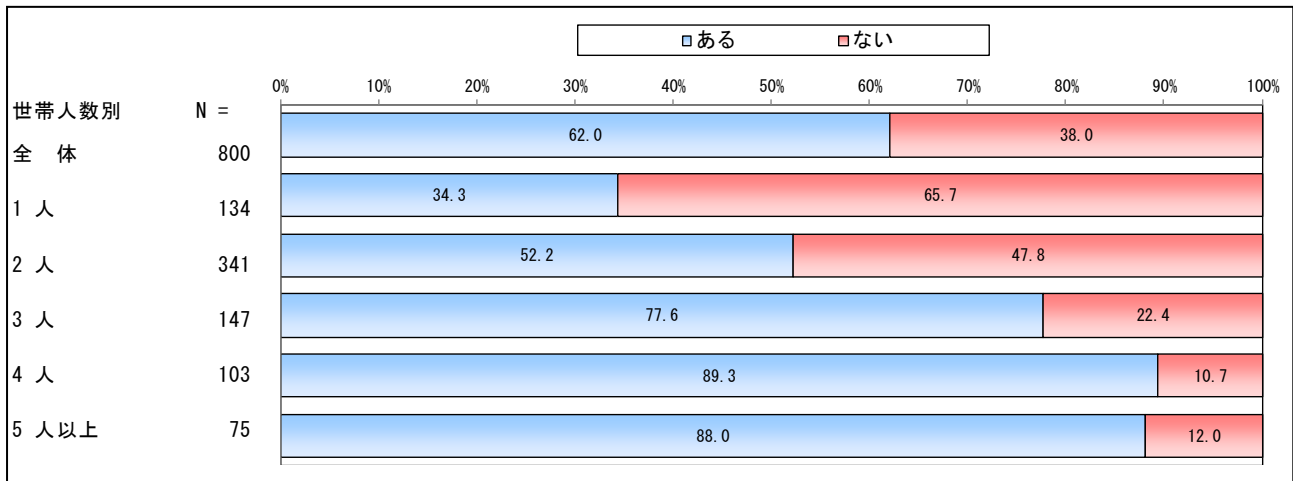


図 3-4 世帯人数別にみるパソコンの利用状況（n=800）

### 4.1 インターネットの利用状況 —『利用する』は52.3%—

- ◇ 「あなたは、普段インターネットを利用しますか？」と質問したところ（図 4-1）、『利用する』（「よく利用する」、「たまに利用する」、「あまり利用しない」の合計）は、52.3%となっています。

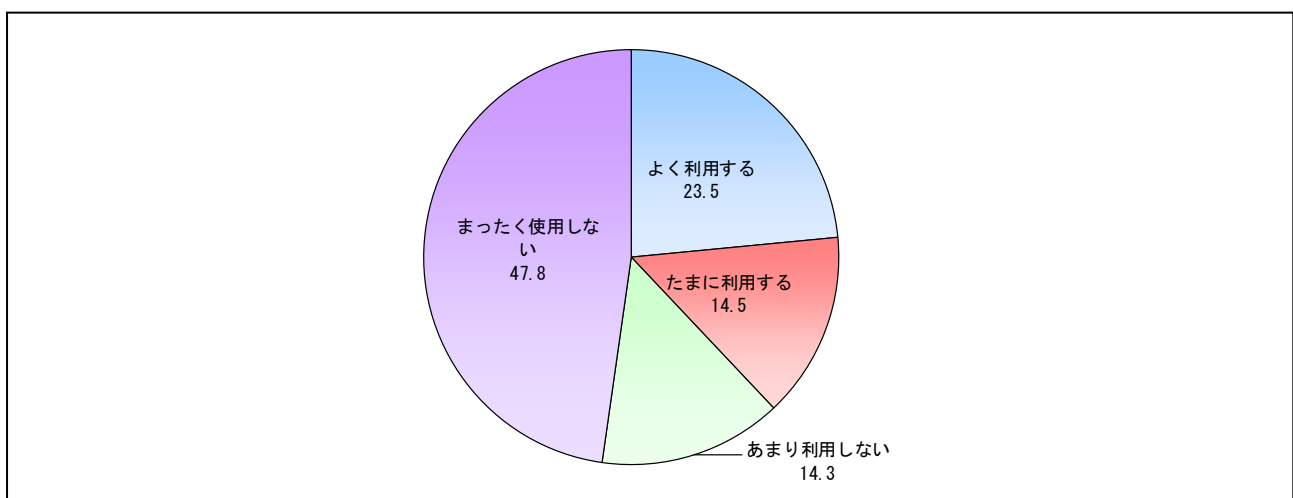


図 4-1 インターネットの利用状況（n=800）

## 4.2 年代別にみるインターネットの利用状況 —『利用する』80代以上 27.0%

- ◇ 年代別にインターネットの利用状況についてみると（図 4-2）、「よく利用する」の項目では、50代が 48.0%と最も高い数値となり、80代以上では 5.0%にとどまっています。
- ◇ 『利用する』では、50代 76.5%、60代 60.5%、70代 39.0%、80代以上 27.0%と、年代が上がると割合が減少しています。

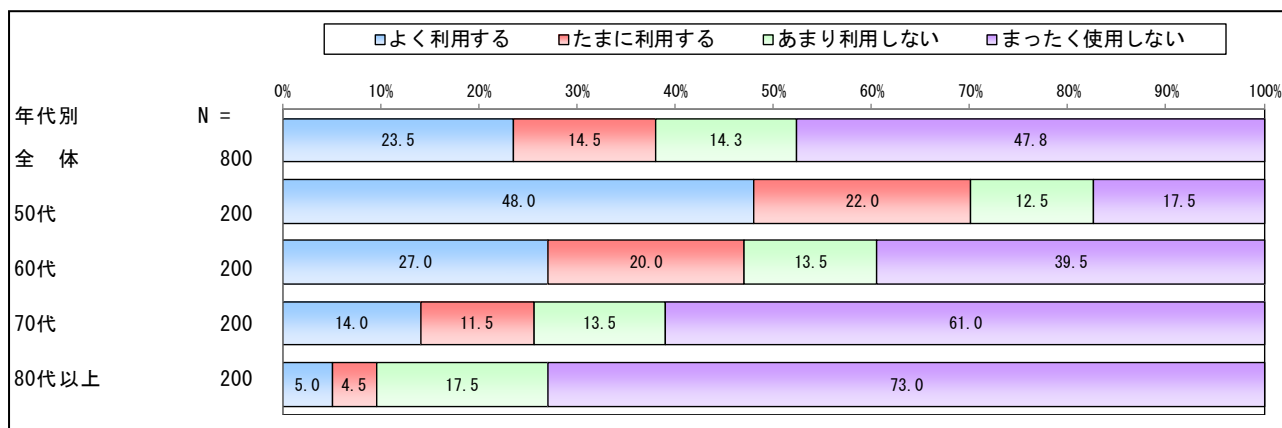


図 4-2 年代別にみるインターネットの利用状況（n=800）

### 4.3 性・年代別インターネットの利用状況 —『利用する』女性 80代は 15.0%—

- ◇ 男女別にインターネットの利用状況をみると（図 4-3）、「よく利用する」の項目では、男性（31.3%）が女性（15.8%）に比べ 15.5 ポイント高い値を示しています。
- ◇ 『利用する』では、男性 61.3%、女性 43.3%となったことから、男性の方がインターネットの利用頻度が高いことがわかります。
- ◇ 性・年代別にみると、「よく利用する」の項目では、男性 50代が 58.0%と 6 割近くがインターネットを頻繁に利用していることがわかります。
- ◇ 『利用する』では、男性 50代が 82.0%と最も高い数値を示し、女性 80代が最も低く 15%の結果となりました。

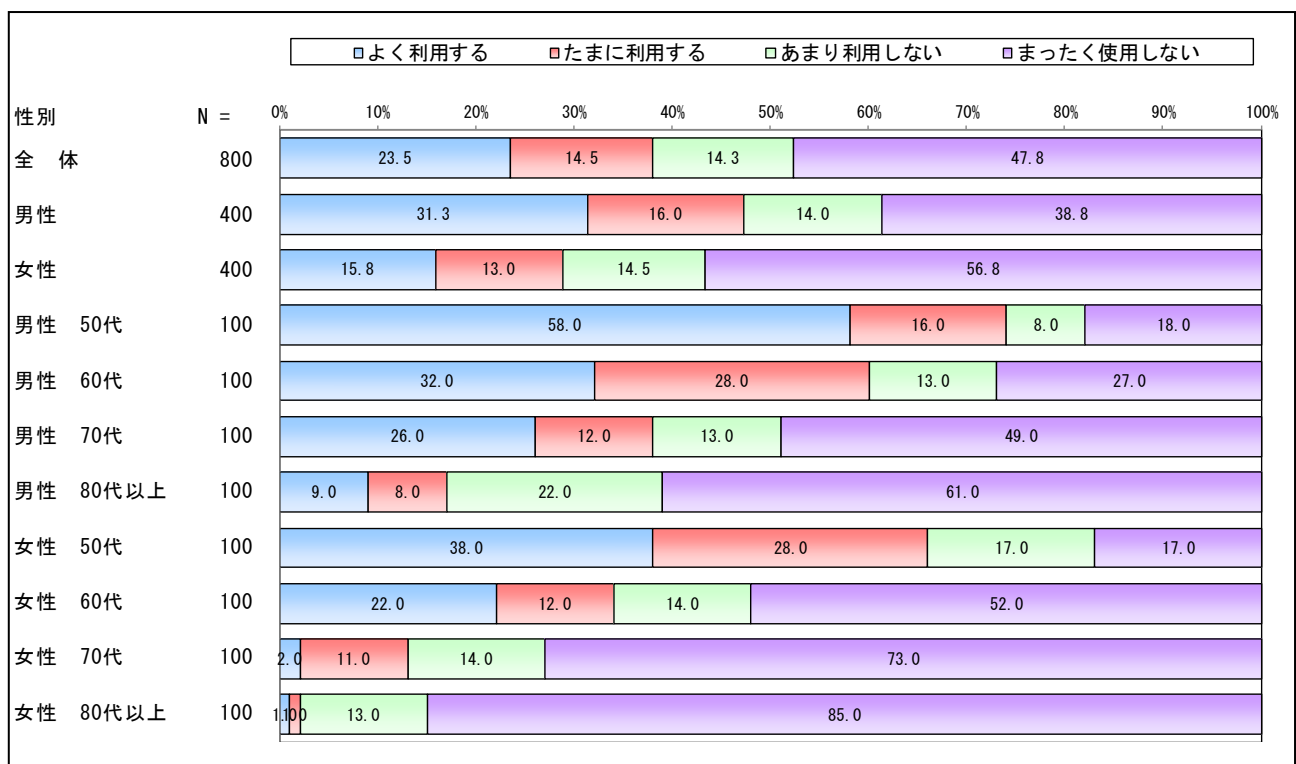


図 4-3 男女別・年代別にみるインターネットの利用状況（n=800）

#### 4.4 世帯人数別インターネットの利用状況 —1人世帯が『利用する』32.9%—

- ◇ 世帯人数別にインターネットの利用状況をみると（図 4-4）、「よく利用する」の項目では、3人 36.7%、4人（35.0%）、5人世帯以上（34.7%）がいずれも3割半となりました。2人以下の世帯（2人 17.6%、1人 9.0%）では、割合が大きく減少していることがわかります
- ◇ 『利用する』では、4人が76.7%と最も高く、1人世帯では32.9%にとどまっています。

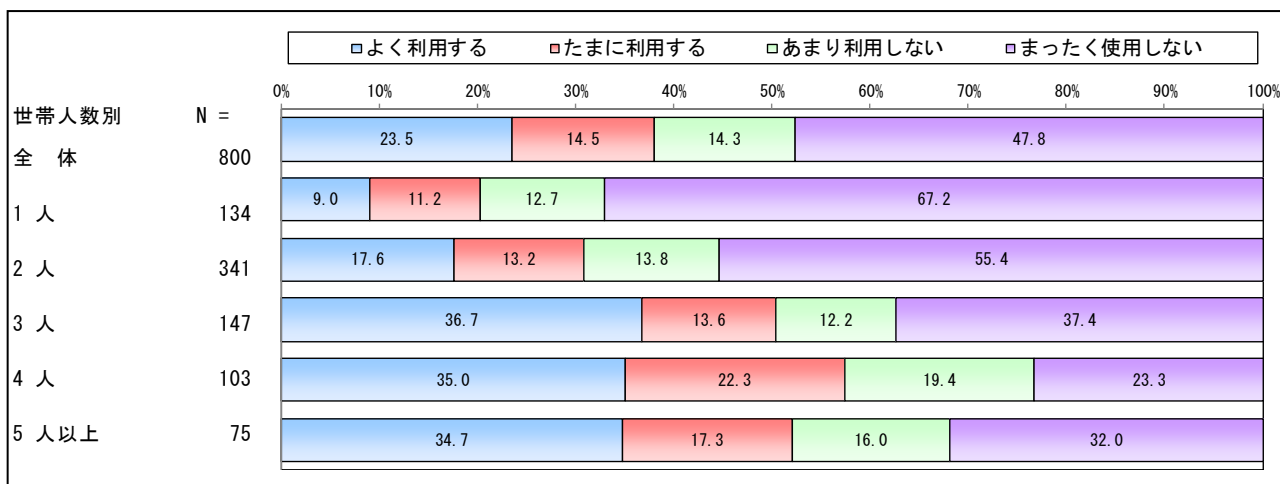


図 4-4 世帯人数別にみるインターネットの利用状況（n=800）

## 5.1 インターネットをする端末機 —「パソコン」が80.4%と最も高い—

- ◇ インターネットを『利用する』（「よく利用する」、「たまに利用する」および「あまり利用しない」の合計）回答者に「どのような端末機を使ってインターネットをすることが多いですか？」と質問したところ（図5-1）、「パソコン」が80.4%と最も高く、「携帯電話」（10.5%）などが続きました。「タブレット端末」は僅か1.2%にとどまりました。

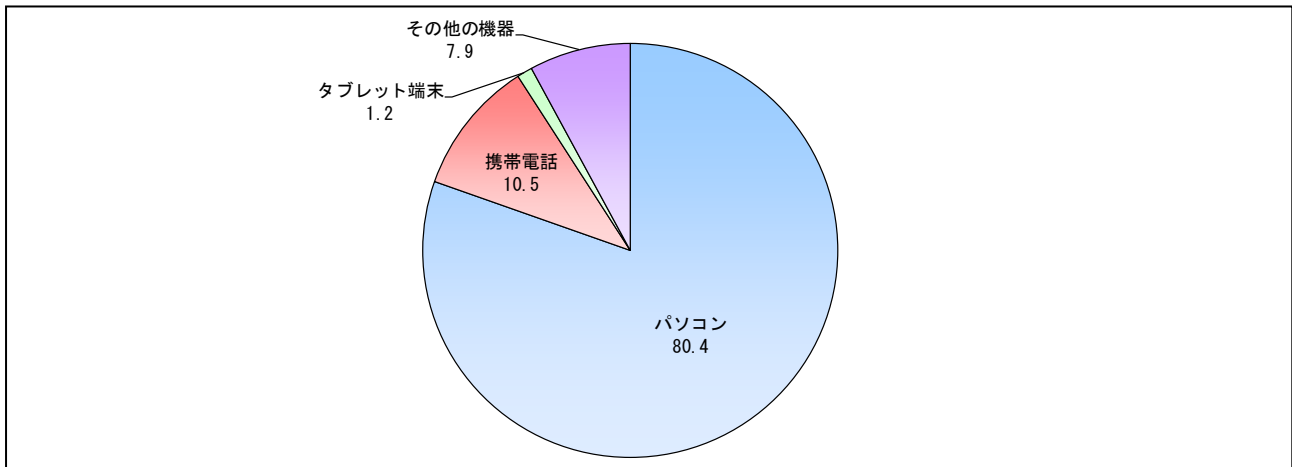


図5-1 インターネットをする端末機 (n=800)

## 5.2 年代別にみる端末機 —「パソコン」60代86.0%、50代85.5%と高い—

- ◇ 年代別にインターネットをする端末機についてみると（図5-2）、「パソコン」の項目では、60代（86.0%）、50代（85.5%）が8割半ばと高い数値を示しています。一方、80代以上が51.9%と低い結果となりました。
- ◇ 80代以上では「携帯電話」が16.7%、「タブレット端末」5.6%となり、他の年代より高い数値であることがわかりました。

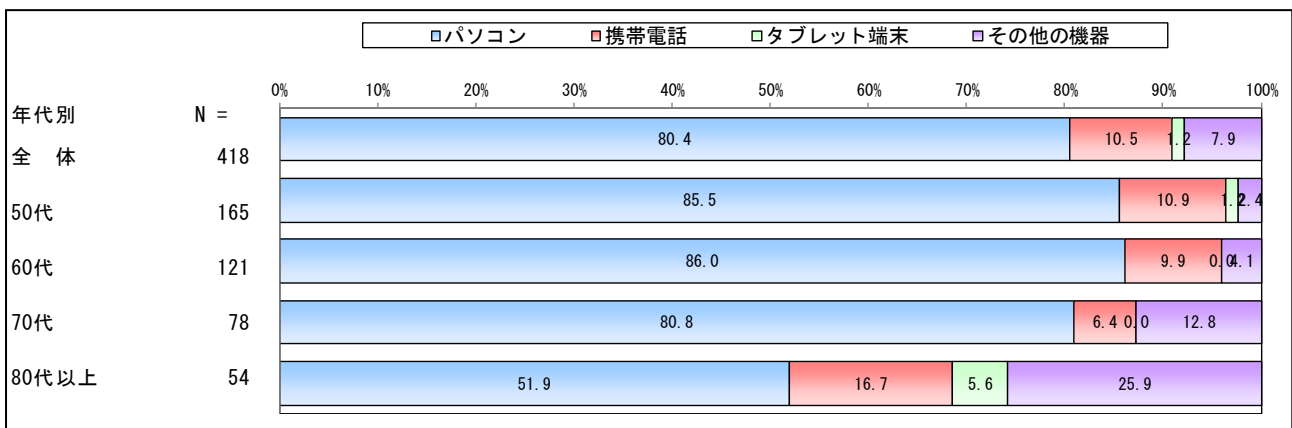


図5-2 年代別にみるインターネットをする端末機 (n=418)

### 5.3 性・年代別にみる端末機 —「パソコン」は男性 70 代 90.2%と最高—

- ◇ 男女別にインターネットをする端末機についてみると（図 5-3）、「パソコン」の項目では、男性（83.7%）が女性（75.7%）に比べ高い数値を示しています。一方、「携帯電話」の項目では、女性（13.3%）が男性（8.6%）よりもやや高い結果となりました。
- ◇ 性・年代別にみると、「パソコン」の項目では、男性 70 代以上（90.2%）は 9 割に達しています。
- ◇ 「タブレット端末」の項目では、男性 80 代以上が 17.9%と他の性年代に比べ高い割合となっています。

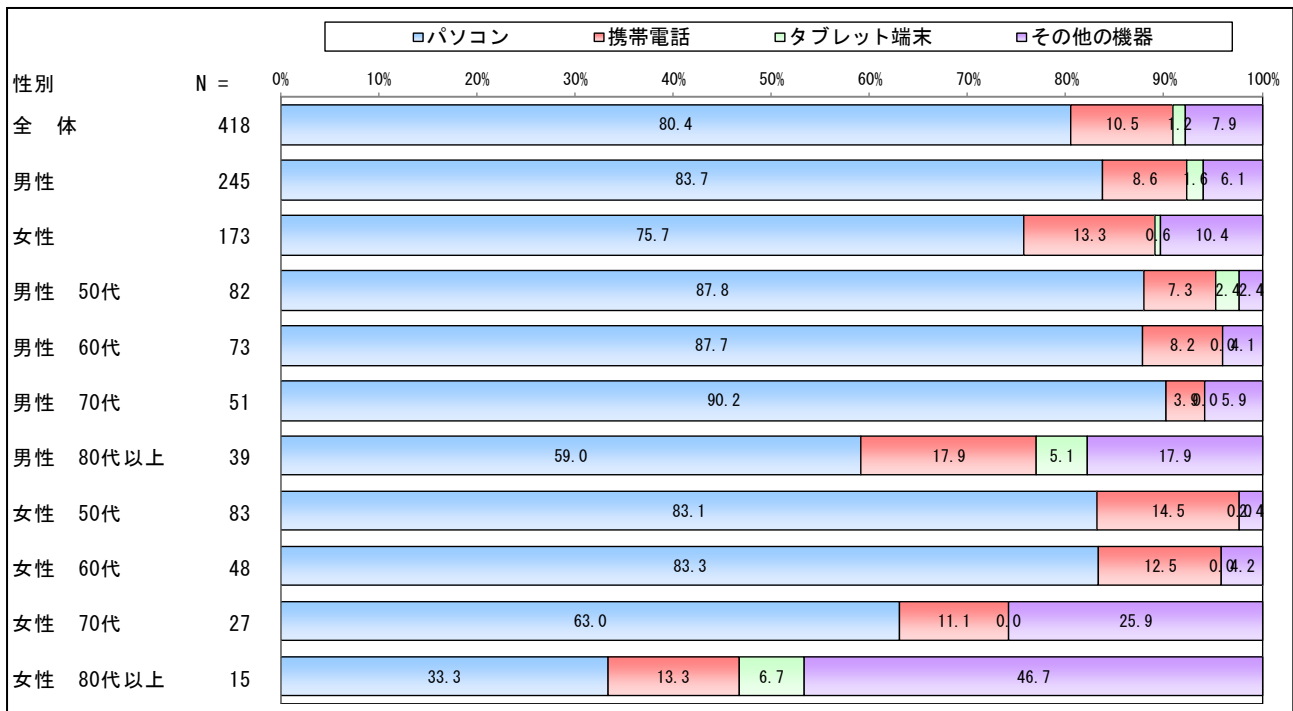


図 5-3 男女別・年代別にみるインターネットをする端末機（n=418）

## 6.1 インターネットで利用する内容 —「調べもの」が81.3%と最も高い—

- ◇ インターネットを『利用する』回答者に利用する内容について質問したところ（図 6-1、複数回答）、全体では、「調べもの」が最も高く 81.3%、次いで、「地図」（68.9%）、「乗換え案内」（49.8%）などが続きました。「mixi、Facebook など SNS といわれるサイト」は 7.7%、「ツイッター」は 6.0%といずれも 1 割に満たない結果となっています。
- ◇ 男女別にみると、「動画を見る」の項目では、男性（46.1%）が女性（31.8%）に比べ 14.3 ポイント高いことがわかります。
- ◇ 性・年代別にみると、「調べもの」の項目では、男性においては、50代（93.9%）、60代（91.8%）、70代（90.2%）が 9 割を越えています。
- ◇ 「チケットの予約」の項目では、女性 60代（37.5%）が男性 60代（26.0%）に比べ 11.5 ポイント高い数値を示しました。「mixi、Facebook など SNS といわれるサイト」の項目では、男性 50代が 15.9%と他の性年代に比べ高い数値となっています。

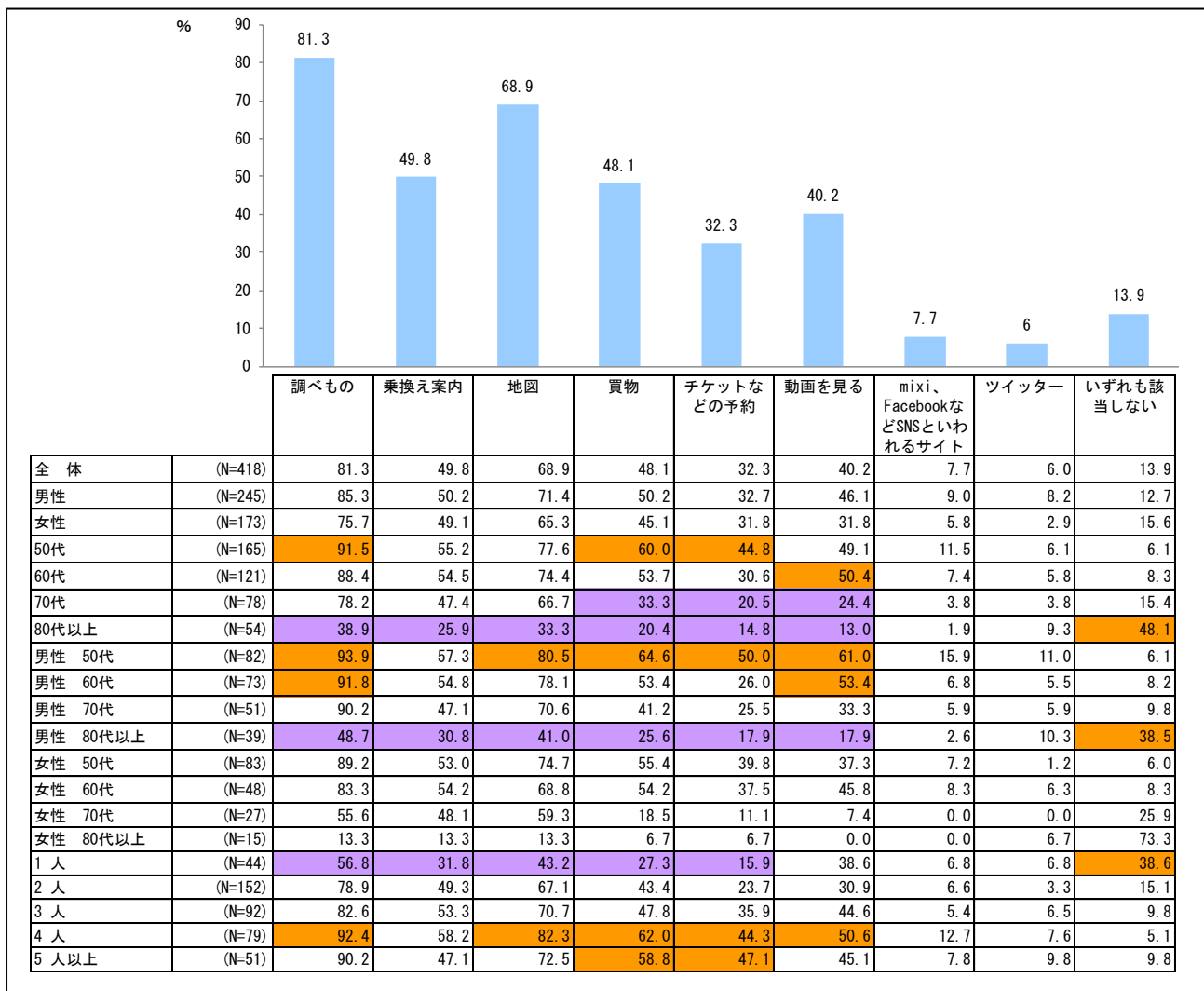


図 6-1 インターネットで利用する内容（n=418）

## 7.1 インターネットの便利さ —63.9%が生活の便利さを実感—

- ◇ インターネットを『利用する』回答者に「インターネットを利用することで、あなたの生活は便利になっていますか？」と質問したところ（図 7-1）、「やや便利になっている」が 38.8%と最も高く、「どちらともいえない」（25.4%）、「便利になっている」（25.1%）などが続きました。
- ◇ 『便利になっている』（「とても便利になっている」、「やや便利になっている」の合計）は 63.9% となりました。全体の 6 割超がインターネットによって生活が便利になっていると感じていることがわかります。

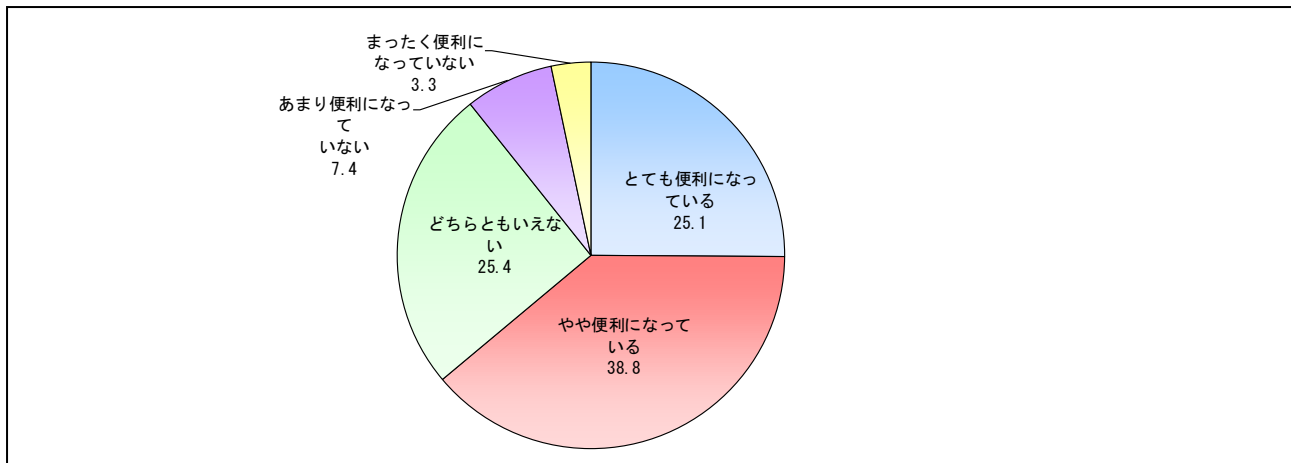


図 7-1 インターネットの便利さ (n=418)

## 7.2 年代別にみるインターネットの便利さ —80代以上では便利さ実感せず—

- ◇ 年代別にインターネットの便利さについてみると（図 7-2）、「とても便利になっている」の項目では、50代が最も高く 34.5%となりました。
- ◇ 『便利になっている』では、50代が 77.5%となり、8割近くがインターネットの便利さを実感していることがわかります。
- ◇ 80以上では『便利になっている』が 35.2%にとどまり、『便利になっていない』（「まったく便利にならない」、「あまり便利になっていない」の合計）が 37.0%と、便利さを実感していない割合が上回る結果となりました。

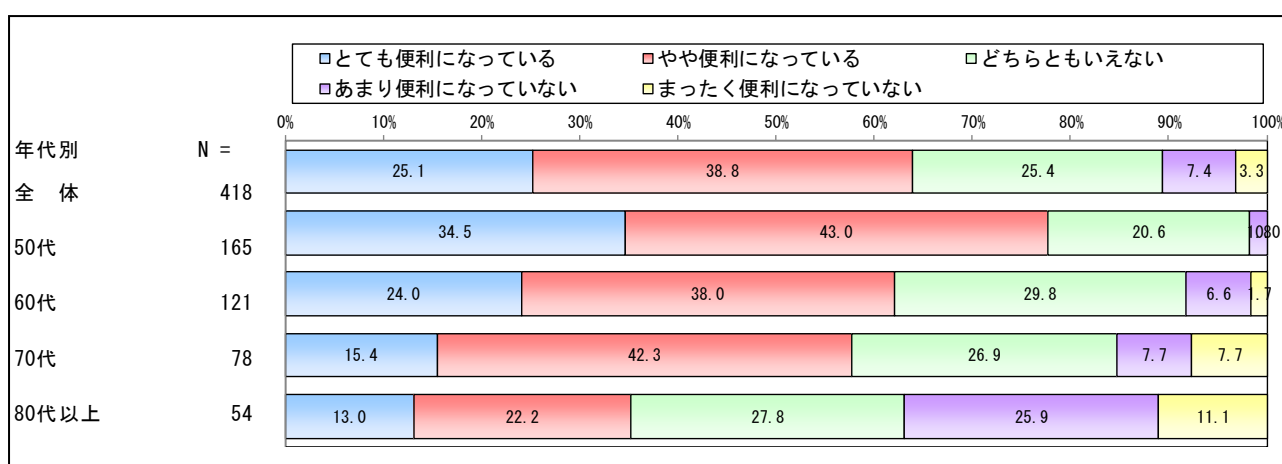


図 7-2 年代別にみるインターネットの便利さ (n=418)

### 7.3 性・年代別インターネットの便利さ —女性 50代が最も便利さを実感—

- ◇ 男女別にインターネットの便利さについてみると（図 7-3）、「とても便利になっている」の項目では、男性が 27.8%、女性では 21.4%と、男性がやや高い結果となりました。
- ◇ 性・年代別にみると、「とても便利になっている」の項目では、男性 50代が 37.8%と最も高い数値を示しています。
- ◇ 『便利になっている』では、女性 50代が 79.5%と他の性年代に比べ最も高いことがわかります。

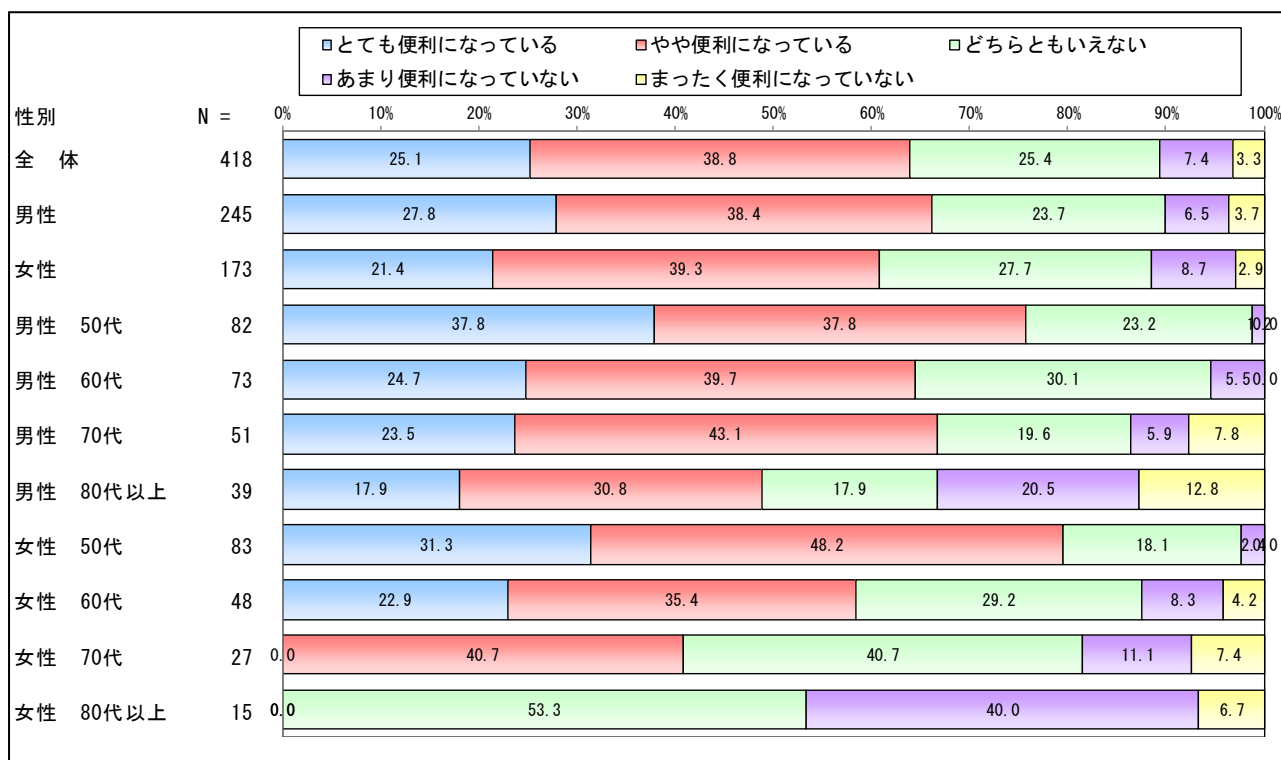


図 7-3 男女別・性年代別にみるインターネットの便利さ (n=418)

## 8.1 インターネットの存在 —全体の84.5%が『必要な存在』と回答—

- ◇ インターネットを『利用する』回答者に「あなたにとってインターネットはどのようなものですか？」と質問したところ(図8-1)、「どちらかといえばあったほうが良い」が57.2%で最も高く、次いで「なくてはならない存在」(27.3%)などが続きました。
- ◇ 『必要な存在』(「なくてはならない存在」、「どちらかといえばあったほうが良い」の合計)は84.5%に達しています。

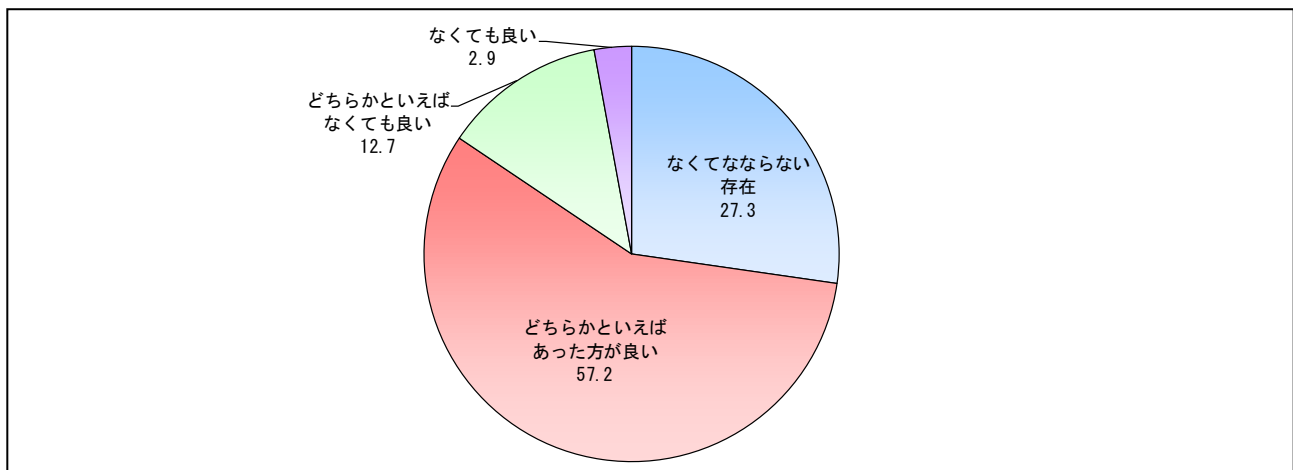


図8-1 インターネットの存在 (n=418)

## 8.2 年代別にみるインターネットの存在 —80代以上『必要な存在』55.6%—

- ◇ 年代別にインターネットの存在についてみると(図8-2)、「なくてはならない存在」の項目では、50代が35.2%と最も高い結果を示しました。60代(24.8%)、70代(24.4%)ではいずれも2割半ばとなり、80代以上では13.0%にとどまっています。
- ◇ 『必要な存在』では、50代が91.0%と最も高く、年代が上がるにつれ減少する傾向を示し、80代以上では55.6%となっています。

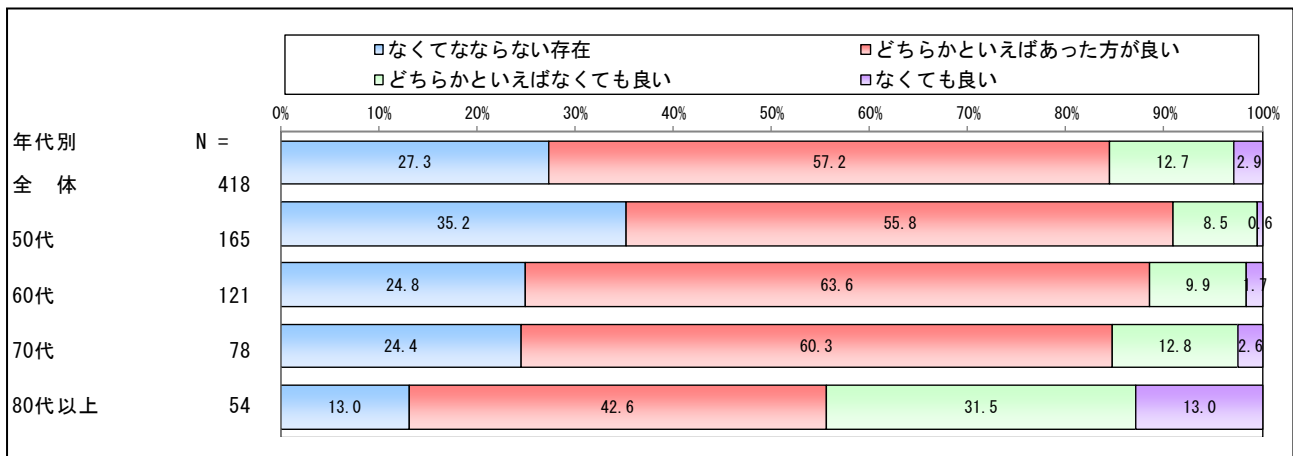


図 8-2 年代別にみるインターネットの存在 (n=418)

### 8.3 性・年代別インターネットの存在—『必要な存在』60代男性が最も高い—

- ◇ 男女別にインターネットの存在についてみると（図 8-3）、『必要な存在』では、男性（87.4%）が女性（80.4%）に比べ 7.0 ポイント高い数値を示しています。
- ◇ 性・年代別にみると、「なくてはならない存在」の項目では、男女共に 50 代（男性 37.8、女性 35.3%）が最も高い割合を示しました。
- ◇ 『必要な存在』では、男性 60 代が 93.1% と他の性年代に比べ高い数値を示しました。

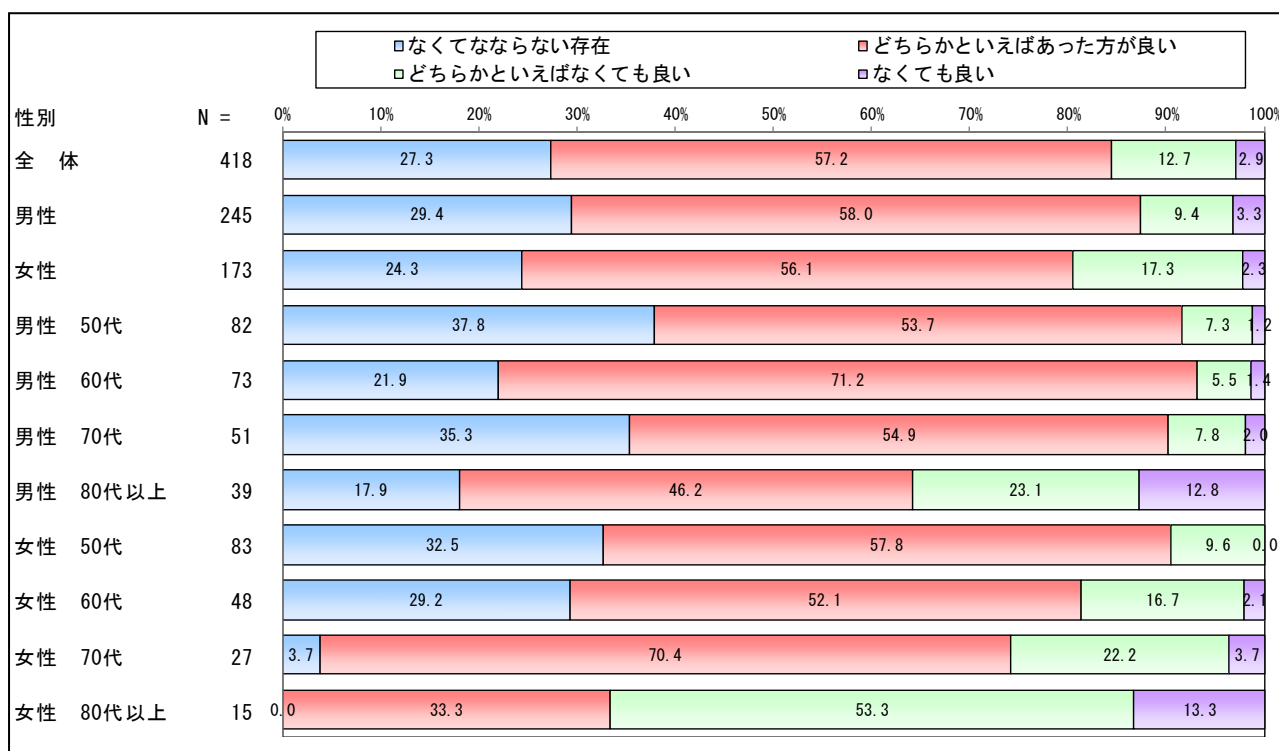


図 8-3 男女別・性年代別にみるインターネットの便利さ

## 9.1 詳しくなりたい端末機 —「パソコン」47.4%、次いで「タブレット端末」—

- ◇ インターネットを『利用する』回答者に「今後、インターネットをもっと快適に利用するためには、どのような情報端末に詳しくなりたいと思いますか?」と質問したところ (図 9-1)、「パソコン」が 47.4%と最も高く、次いで「タブレット端末」(13.6%)、「従来の携帯電話」(13.4%)、「スマートフォン」(9.3%) などが続きました。

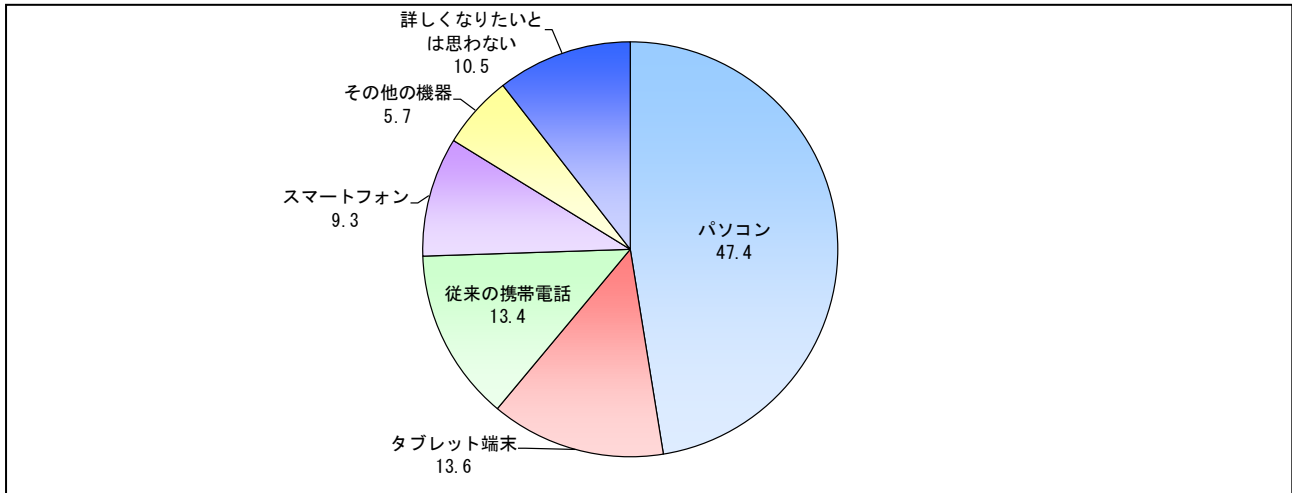


図 9-1 詳しくなりたい端末機 (n=418)

## 9.2 年代別にみる詳しくなりたい端末機 —「パソコン」70代が 53.8%と最高—

- ◇ 年代別に詳しくなりたい端末機についてみると (図 9-2)、「パソコン」が全ての年代で最も高いことがわかります。50代において、「タブレット端末」(17.0%)、「スマートフォン」(14.5%)の項目が、他の年代に比べ高くなっていることがわかります。

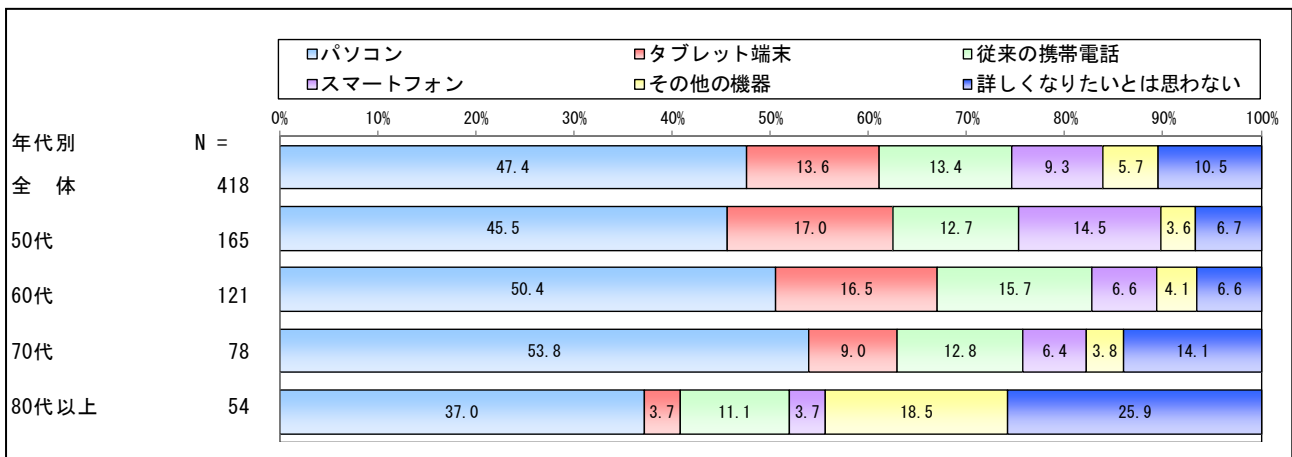


図 9-2 詳しくなりたい端末機 (n=418)

### 9.3 性・年代別詳しくなりたい端末機 —「タブレット端末」50代男性が19.5%—

- ◇ 性・年代別にみると、「パソコン」の項目では、男性70代が62.7%と他の性年代に比べ最も高い割合を示しています。
- ◇ 「タブレット端末」の項目では、男性50代（19.5%）、男性60代（19.2%）が共にほぼ2割に達し、やや高い数値となりました。
- ◇ 「スマートフォン」の項目では、男性50代が15.9%と最も高く、次いで、女性50代13.3%となりました。

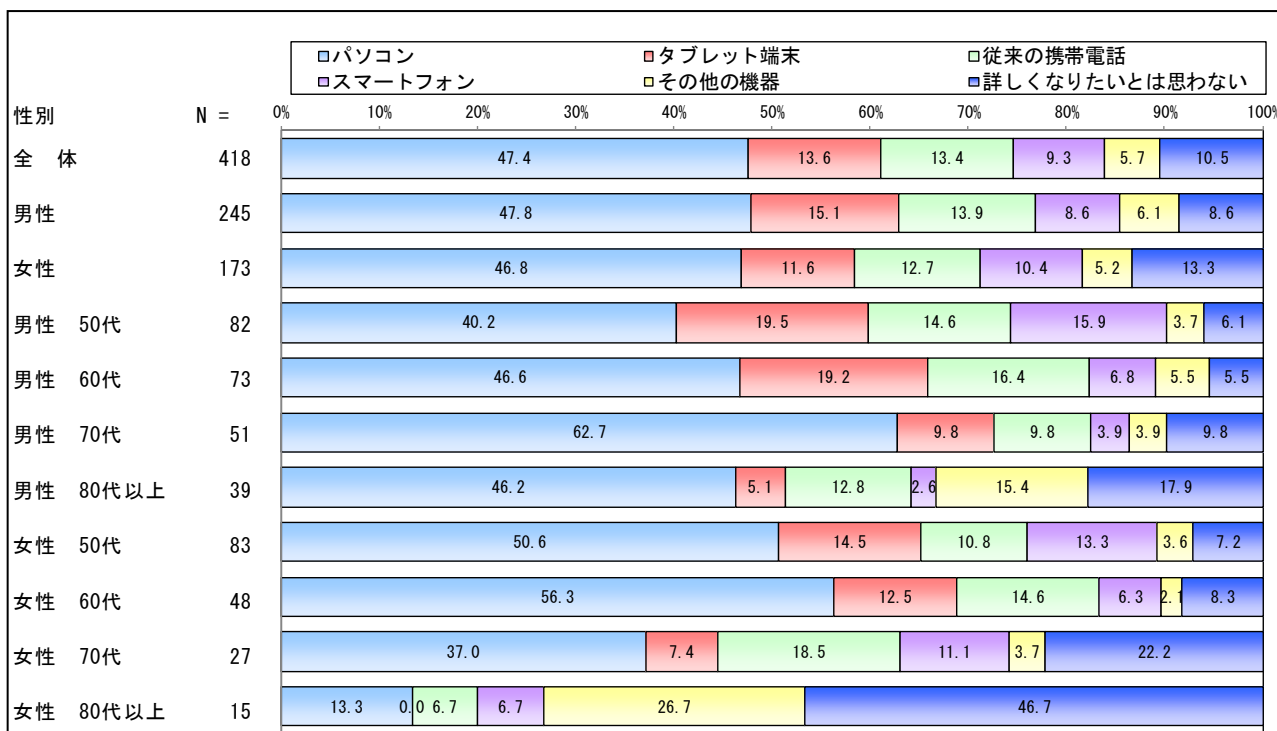


図 9-3 男女別・性年代別にみる詳しくなりたい端末機 (n=418)

## 10.1 インターネットの利用意向 —『利用意向あり』は 21.7%にとどまる—

- ◇ インターネットを「まったく利用しない」回答者に「インターネットを利用したいですか？」と質問したところ（図 10-1）、「利用したくない」が 50.2%、次いで「どちらかといえば利用したくない」（27.7%）となり、利用意向が低いことがわかります。
- ◇ 『利用意向あり』（「利用したい」、「どちらかといえば利用したい」の合計）は 21.7%にとどまっています。

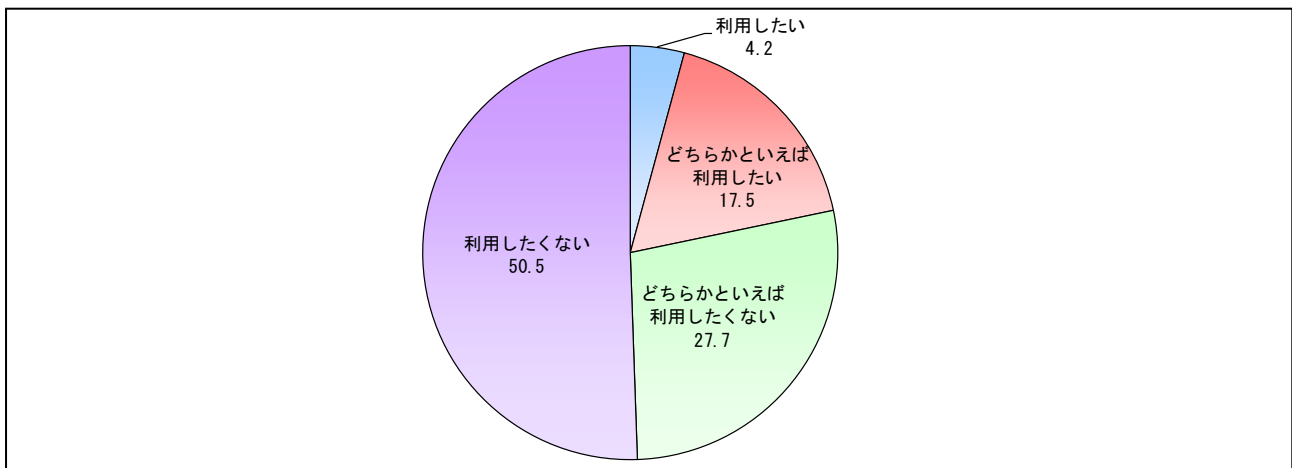


図 10-1 インターネットの利用意向 (n=382)

## 10.2 男女別インターネットの利用意向 —男女間に大きな差はなし—

- ◇ 男女別にインターネットの利用意向をみると（図 10-2）、利用意向に男女の大きな差は見受けられませんでした。
- ◇ 「利用したくない」の項目では、やや男性が高い数値を示しています。

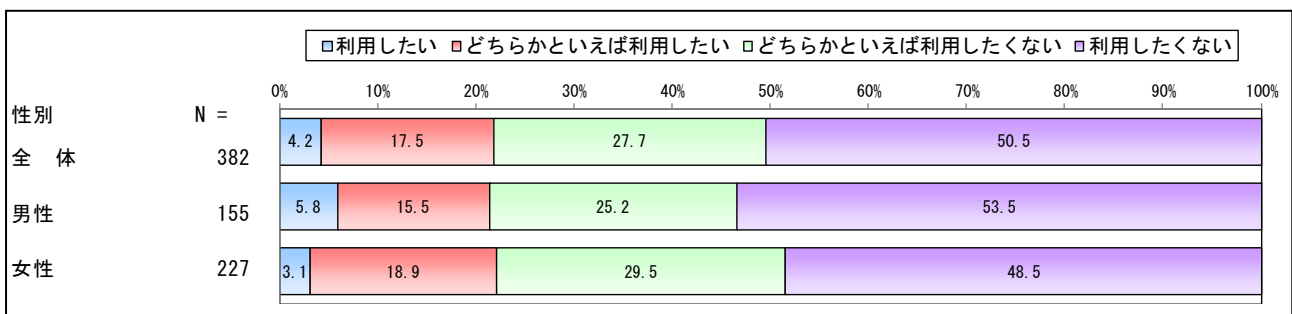


図 10-2 男女別にみるインターネットの利用意向 (n=382)

### 10.3 年代別インターネットの利用意向 —『利用意向あり』のトップは60代—

- ◇ 年代別にインターネットの利用意向をみると（図 10-3）、『利用意向あり』では、60代が 36.7% と他の年代に比べ高くなっていることがわかります。尚、より意向の強い「利用したい」の項目では、50代（8.6%）が60代（6.3%）をやや上回っています。
- ◇ 「利用したくない」の項目は、年代が上がるにつれ割合が高くなっていることがわかります。

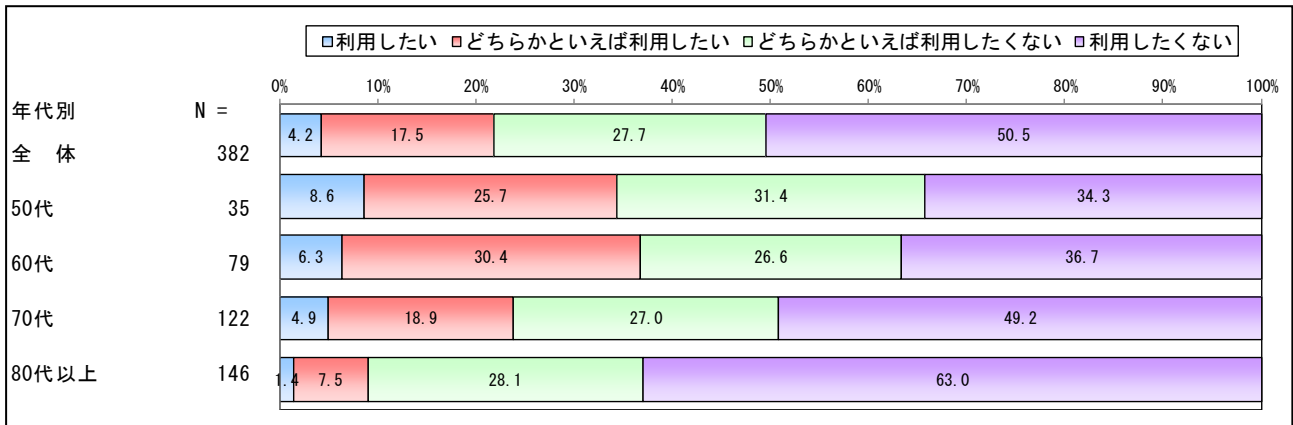


図 10-3 年代別にみるインターネットの利用意向（n=382）

## 11.1 インターネットの便利さ —『便利にならない』回答が5割超—

- ◇ インターネットを「まったく利用しない」回答者に「インターネットを利用できれば、あなたの生活は便利になると思いますか?」と質問したところ(図 11-1)、「どちらともいえない」が33.2%と最も高く、インターネットを利用することでの生活の利便性向上については、判断できない様子がうかがえます。
- ◇ 『便利にならない』(「あまり便利にならない」、「まったく便利にならない」の合計)は51.9%と、半数以上が利便性を感じていないようです。
- ◇ 『便利になる』(「とても便利になる」、「やや便利になる」の合計)は14.7%にとどまっています。

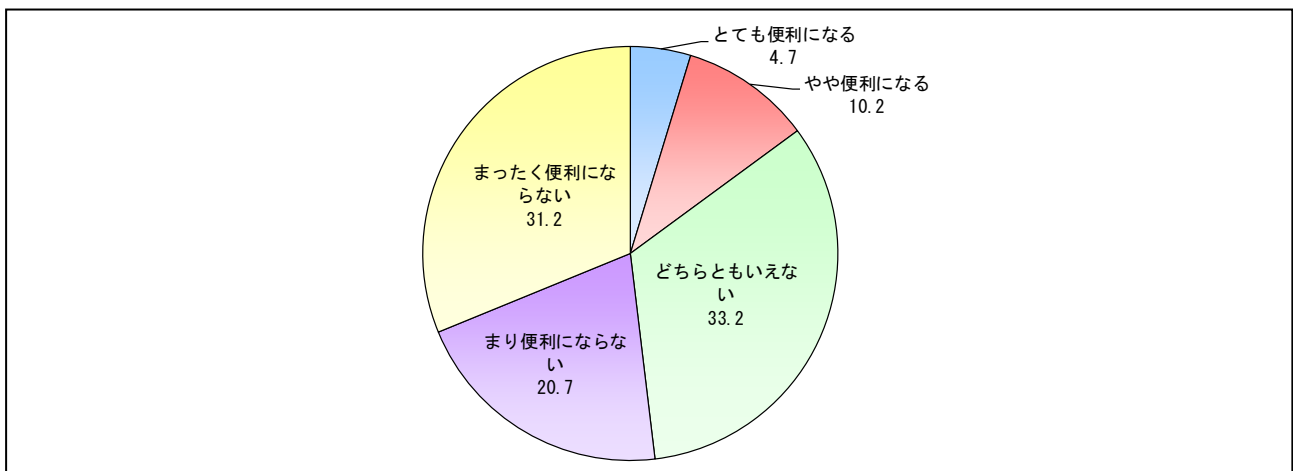


図 11-1 インターネットの便利さ (n=382)

## 11.2 男女別にみるインターネットの便利さ —男女間による差は見られず—

- ◇ 男女別にインターネットの便利さについてみると(図 12-2)、男女共に大きな差はみられず、『便利になる』は男性16.2%、女性14.1%となっています。

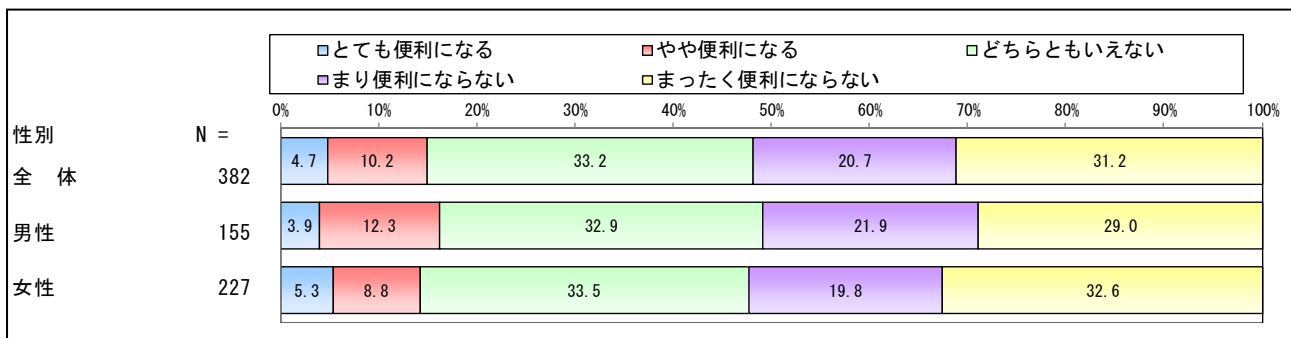


図 11-2 男女別にみるインターネットの便利さ (n=382)

### 11.3 年代別インターネットの便利さ —『便利になる』60代がトップ 2割半ば—

- ◇ 年代別にインターネットの便利さについてみると（図 11-3）、「まったく便利にならない」の項目では、80代以上が 44.5%と最も高く、『便利にならない』（64.4%）においても 6割半ばと、利便性を感じていないとわかります。
- ◇ 一方、『便利になる』の項目では、60代（25.4%）が最も高い数値を示しました。
- ◇ 50代では「とても便利になる」の回答はみられませんでした。

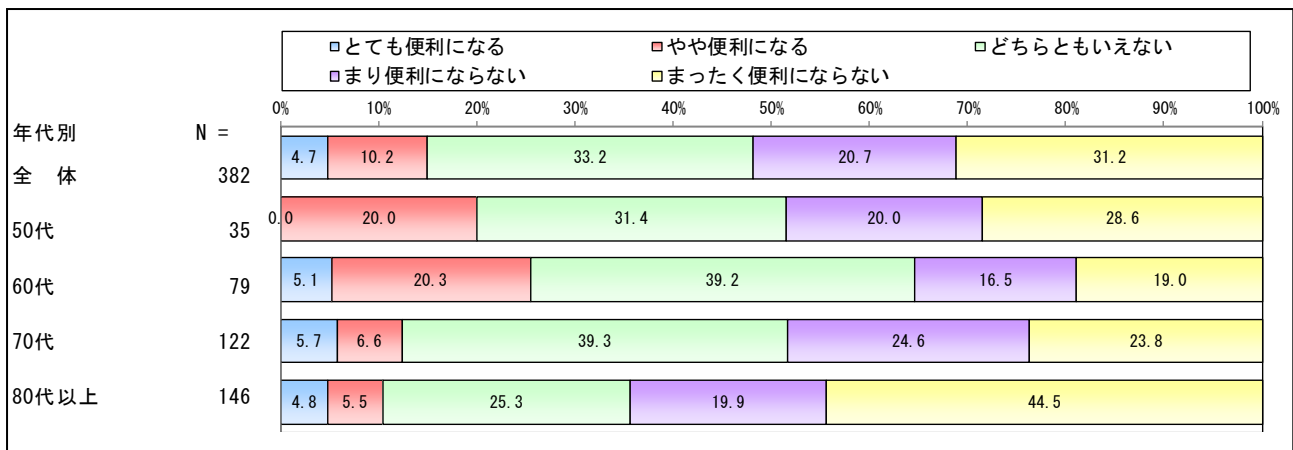


図 11-3 年代別にみるインターネットの便利さ (n=382)

## 会社概要

---

株式会社ジー・エフは、独自開発した「自動テレマーケティングシステム」(アウトバウンド IVR) を活用し、インターネットやモバイルだけではカバーしきれない『シニア・高齢者』に特化したマーケティングリサーチサービスを提供しております。

商号 株式会社ジー・エフ  
資本金 10 百万円  
設立 2010 年 2 月  
代表者 代表取締役社長 岡田 博之  
本社 〒112-0012 東京都文京区大塚三丁目 20 番 1 号 吉田ビル 4F  
U R L <http://www.gf-net.co.jp> (コーポレートサイト)  
<http://www.senior-promo.com> (シニアマーケティング支援サイト)  
事業内容

- ・シニアデータベースを活用したリサーチサービス
- ・各種世論調査、市場調査、マーケティングリサーチ
- ・情報通信システムを活用したマーケティング代行